
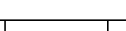


土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名	平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託		
事業名 または 工事名			
調査目的及び調査対象	砂防 砂防		

ボーリング名		B2-No.4		調査位置		広島県安芸郡熊野町中溝地内（椎川支川1溪流）					北緯		34° 20' 44.5136"				
発注機関		広島県西部建設事務所					調査期間		2021年 1月 27日 ～ 2021年 1月 28日					東経		132° 34' 15.2286"	
調査業者名				主任技師				現 場 代 理 人		コ 定 者		ボーリング責任者					
孔口標高		T.P.+330.87m		角 度		方 位		地盤勾配		使用機種		試験機		東邦地下工機 D1-C			
総削孔長		9.00m		180° 上下 90° 0°						エンジン		ヤンマー NFD 12		ポンプ		東邦地下工機 BG3C	

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試料採取 深 度 採 取 番 号	室 原 内 位 置 試 験 驗	削 孔 月 日
												深度－N値図								
(m)	(m)	(m)										N 深 度	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量				
	330.27	0.60		礫混じり砂		赤褐				新第四紀 堆積堆積物に相当。φ15mm以下の礫分を混入。全体に細粒分も含有する。	01/28.2.9		0	100	200					
1										花崗岩の強風化土（砂質土）。全体に岩組織は明瞭である。変質脈を頻繁に介し、白濁化が著しい。		8	1.15	2	2	4	8			
2				花崗岩強風化土		黄灰褐				コアは概ね砂状を呈す。固結度は失われており、コア表面を強く押すと崩れる。割れ目は認識されない。変質脈には粘土化を伴い、脈間には風化岩片が虫食い状に残存している。Ⅱ級。		18	1.45	5	6	7	18			
3	327.22	3.65										22	2.15	6	7	9	22			
4				花崗岩強風化土		淡灰褐			中生代白亜紀	花崗岩の強風化土（砂質土）。変質は収まる。土棒状コアをなし、中程度の指圧により砂状と化す。割れ目は完全に消失している。Ⅱ級。		24	3.15	6	7	9	22			
5	325.87	5.00								花崗岩の強風化土（砂質土）。土棒状コアをなし、少しの固結度が認められる。粉砕したコアは砂状を呈すが、少し粗い感がある。Ⅱ級。		39	3.45							
6	324.87	6.00		花崗岩強風化土		淡灰褐				花崗岩の強風化部（軟岩Ⅰ）。土棒状コアをなし、マザ状に岩芯風化している。固結度はさらに高まっており、コアを崩すのにかなり強い力を要する。部分的には崩すことが困難な箇所もある。崩したコアは細礫混じりの砂状を呈す。所々で痕跡化した割れ目が認識される。Ⅱ級。		58	4.15	7	7	10	24			
7												75	4.45							
8				強風化花崗岩		淡灰褐						84	5.15	8	14	17	39			
9	321.87	9.00										94	5.45							
10												103	6.15	15	19	16	50			
												112	6.41				60	260		
												121	7.10	21	29		50	200		
												130	7.39				200			
												139	8.10	26	24		50	160		
												148	8.26				160			
												157	9.10	22	28		50	180		
												166	9.28				180			